

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
運動療法学		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
源 裕介 他	D320				
授業の目的・概要	身体機能を維持するには適度な運動を行うことが推奨されている。運動療法学は各種運動療法の基盤とされる最も基礎的な運動療法について理解することを目的とする。運動量の増減に依存した身体諸機能の変化を軸に、不動や運動を制御するシステムの障害などに対する基礎的な運動療法の効果、及び実施方法について講義する。				
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习) ☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実技 ☒ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他（ ）				
学習上の助言	生理学、解剖学、病理学、運動学の内容を理解している必要がある。				
教科書	Crosslink 理学療法学テキスト 運動療法学 第1版 / 編:対馬 栄輝 / メジカルビュー社				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	各種運動療法の効果・作用機序について理解し、説明できる。			PT (2)、(3)	
②	各種運動療法の実施方法について理解し、説明できる。			PT (2)、(3)	
③	各種運動療法の長所・短所について理解し、説明できる。			PT (2)、(3)	
④					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1	運動療法の基礎：運動療法の歴史、定義と目的について学習する。	[担当] 甘利 貴志	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
2	関節可動域制限：不動によるコラーゲンの架橋現象や軟骨の破壊、関節可動域制限の成因などについて学ぶ。	[担当] 甘利 貴志	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
3	関節可動域運動：関節可動域運動の実施方法・効果・作用機序について学習する。	[[担当] 甘利 貴志	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
4	不動と筋力低下：不動による運動神経系の変化と筋力低下の成因について学習する。	[担当] 源 裕介	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
5	筋力増強運動：過負荷の原則、各種筋力増強運動の実施方法・効果・作用について学習する。	[担当] 源 裕介	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
6	不動と持久力低下：疲労の種類、不動による持久力低下の成因などについて学習する。	[担当] 源 裕介	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
7	持久力増強運動：身体活動量、各種持久力運動の実施方法・効果・作用について学習する。	[担当] 源 裕介	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
8	筋・骨格系の運動療法：2-7 回目の授業について知識の統合を行う。	[担当] 源 裕介	講義	2-7 回目の授業の講義資料を読む。	4
9	中枢神経障害による運動障害：中枢神経による運動調節の異常と運動障害について学習する。	[担当] 元山 美緒	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
10	中枢神経障害の運動療法：運動学習を応用した運動療法の実施方法・効果・作用機序について学習する。	[担当] 元山 美緒	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
11	脊髄・末梢神経障害の運動療法：脊髄・末梢神経障害に対する運動療法の方法・効果・作用機序について学ぶ。	[担当] 元山 美緒	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
12	神経系の運動障害：9-11 回目の授業内容について知識の統合を行う。	[担当] 元山 美緒	講義	9-11 回目の授業の講義資料を読む。	4
13	代謝障害の運動療法：メタボリックシンドロームに対する運動療法の方法・効果・作用機序について学ぶ。	[担当] 甘利 貴志	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
14	高齢者の運動療法：高齢者の身体特性、高齢者に合わせた運動強度の設定とそのリスクについて学習する。	[担当] 甘利 貴志	講義・実技	指定された教科書や、講義資料を読む。	4

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

15	ここまでの学習の総括を行う。	[担当] 新任教員	講義	指定された教科書や、講義資料を読む。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記による定期試験を実施して評価する。定期試験では各授業で配布したプリントの内容を確認する問題を出題し、理解度を問う。				試験の添削，開示
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		甘利貴志、元山美緒					
教員の実務経験		病院にて理学療法士としての 5 年以上の実務経験あり。					
実践的授業の内容		運動療法の基礎的な部分や、代表的な疾患に対する運動療法を実際の臨床経験をふまえて説明する。					
そ の 他		授業態度： 授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。 感染対策： 本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。感染対策を遵守できない学生は面接授業の参加を認めない。今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮して、シラバス変更の可能性があることに留意してほしい。					